

イベント告知と募集 (会員・ボランティア・寄付協賛) ※掲載ご希望の方はお問合せください

時 時間 所 場所 内 内容詳細 費 費用 申 申し込み方法 プレイガイド 締 締め切り 分 分野 対 対象 金 金額 問 問い合わせ・連絡先

告知 2024長岡クラフトフェア



陶芸、木工、染織、ガラス、金属、皮革、和紙など全国からプロの工芸作家130人以上が展示販売を行います。5/11(土)10時~16時30分、12(日)9時30分~16時30分 千秋が原ふるさとの森「コミュニティ広場」無料 長岡クラフトフェア実行委員会 ☎080-6718-1838

告知 アフリカンフェスタ! in ながおか 2024



アフリカと国際協力にふれてみよう。映画「グレート・グリーン・ウォール」、講演「アフリカ・ケニア子ども支援、これまでとこれから」5/12(日)10時~17時 アオーレ長岡市民交流ホールA & ホワイエ 無料 アフリカンフェスタ実行委員会 ☎0258-36-3366(16時~お好み焼き花月)

告知 世界のHAGAとのもーれ!



紛争地を中心に66カ国を飛び回る!? 国際交流、市民協働、空手...知れば知るほど沼が深い! 世界の羽賀友信と一緒にのもーれ! どなたでも参加可能! 5/17(金)19時~20時30分 アオーレ長岡協働ルーム 一般2,000円/会員1,800円 ながおか市民協働センター ☎0258-39-2020 (田中)

告知 「ビヨンド・ユートピア 脱北」長岡上映会



5/26(日)18時30分~20時30分 アオーレ長岡市民交流ホールA 前売一般1,200円/当日一般1,500円、障害者手帳・療育手帳をお持ちの方・高校生以下500円(購入時に手帳・学生証提示) ながおか市民協働センター 長岡アジア映画祭実行委員会 ☎090-4520-4222

告知 「二歳魚即売会」「二歳魚研究会」



6/9(日)10時~10時30分(二歳魚即売会)、9時~10時30分(二歳魚研究会) 千秋が原ふるさとの森アトリウム前 繁殖時期が過ぎ、会員が不要となった二歳魚を廉価で販売 長岡らんちゅう会 ☎080-6687-3625 (渡邊)

募集 2024年度 ニッセイ財団 高齢社会助成



公益財団法人 日本生命財団 ①5地域福祉チャレンジ活動助成 5/31(金)まで、②実践的課題研究、③若手実践的課題研究 6/14(金)まで 社会福祉 ①1団体最大400万円(1年最大200万)、②1件最大400万円(1年最大200万)、③1件最大100万円 公益財団法人 日本生命財団 ※詳細は財団HPまたはコライトから

募集 子どもゆめ基金



6/18(火)17時まで ①子ども ②自然体験活動、科学体験活動、交流を目的とする活動社会奉仕体験活動、職場体験活動、総合・その他の体験活動、読書活動ほか 全国規模/最大600万円、都道府県規模/最大200万円、市区町村規模/最大100万円 独立行政法人 国立青少年教育振興機構

募集 市民活動フェスタ参加団体募集



例年5,000人が集まる「市民活動の文化祭」今年度のフェスタと一緒に盛り上げてくれる団体を募集! 長岡で活躍する市民活動団体のみなさん、活動をPRしませんか? 9月28日(土)10時~15時 アオーレ長岡 無料 5/19(日)まで ながおか市民協働センター ☎0258-39-2020(栗林)

募集 活動の広報・PRにお役立てください!



ながおか市民協働センターでは、広報・PRのお手伝いを行っています。イベント告知・ボランティア募集・会員募集・寄付協賛集めといった情報を、WEB・情報誌掲載・チラシ設置・SNSなど様々な手段で地域の皆さんにお届けいたします。皆さまの活動にぜひお役立てください ながおか市民協働センター ☎0258-39-2020

センターからのおしらせ! 団体運営のテコ入れに! 専門家を無料派遣!

活動団体の組織能力アップを目指して各団体のニーズに合わせた講師を無料で派遣します。この機会に団体のお悩み解決、スキルアップを図りませんか? ヒアリングの後、派遣する専門家を決定します。まずは協働センターまでお問合せください。

対象	長岡市のNPO法人、市民活動団体など公益的な活動をしている団体
募集数	4団体(先着順)
申込期間	2025年2月末まで随時受付
相談例	● SNSに投稿する動画の作成方法を教えてほしい(児童福祉系市民団体) ● 建物の寄付を受け入れる際の手続きについて知りたい(福祉系NPO法人)

発行 **カカ** ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1-4-10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3階
TEL: 0258-39-2020 Mail: contact@nagaokakyodo.net

毎週月曜17時からは「つながり」FMながおか(80.7MHz)でオンエアしているながおか市民活動紹介番組「つながるラジオ」第5月曜日を除く、約10分間をお楽しみに♪

本誌で掲載の方々にはコンテンツで動画を配信中!

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅など公共施設に設置しています。

知る + つながる + 好きになる

ながおか市民活動情報誌



2024
5
May
VOL.137

協働の種を探しにいこう!

take free

racotte

活動ピックアップ!

nagaoka

長岡地域



かるたで広がる
遊び仲間と地域の関わり



指導者 池上 純之さん

KNH五色百人一首クラブ
レッドキャッツ

「みんなで集まり楽しくかるたを使って遊ぼう」を合言葉に、2020年から活動しています。小倉百人一首を5色に分け、1回3分ほどで対戦できる五色百人一首は、小学校を中心に教具として使用されています。2020年11月、長岡市で初めて大会を開きました。定期的な練習や他地域との交流試合だけでなく、季節の遊びやレクリエーション、子ども食堂のお手伝いなど、活動は広がっています。

長岡 | みんなのSDGs



伝統も教育事業も受け継ぎ
長岡から世界へ



有限会社小国和紙生産組合

今井 千尋さん

300年以上の歴史を持つ「小国紙」の生産のほか、先代から受け継いだ教育事業にも取り組んでいます。市内の小中学校を中心に出張授業、首都圏やアメリカの学校にリモート授業など、地域、年齢に合わせた授業を提案。数学の角度を用いた切り紙などの学びも一緒に提供しています。伝統文化を伝えるだけでなく、和紙を通して子どもたちの「好き」「得意」を見つけられるよう、今後も多様な要素を取り入れた授業を子どもたちと共に行っていきたくです。

変化を楽しみ
知るを楽しむ

丸山 清武さん(55歳)
ストーブスタジオ長岡店代表/チーム木念人



元気な森林(やま)
でアハがる!
丸山清武
活動の根っこ

Maruyama Kiyotake
1969年長岡市生まれ。
薪ストーブやペレットストーブの
販売施工をするストーブ専門店を営む傍ら、
チーム木念人の一員として市民活動に関わる。

「元^{やま}気な森林に逢いたい!」を合言葉に身近な森林の間伐、一般の方にチェーンソーの使い方、木の切り倒し方、倒した木の搬出方法などを教え、山を元気にする活動を行う“チーム木念人”の一員として活動している丸山清武さん。毎月第一土曜日が活動日。小規模な道具と少ない人員で、安全に楽しみながら森林を手入れする方法を理論と実践を交えて伝えています。

丸山さんの人生の転機となったのが2004年に発生した中越地震。震災直後に仕事で小千谷市へ復旧に必要な支援物資の供給に行った際、ライフラインが寸断されたため暖を取れなかった経験をしました。その翌年、災害時にも暖を取れるようにという理由から、自宅に薪ストーブを設



受講生に木の切り倒し方を教えている様子。狙った場所に倒せるようにするには受け口の作り方が決まるそう。

置しました。その後薪割り機やチェーンソーを取り扱う会社に転職。商材であるチェーンソーのことを勉強しなければと研修を受けましたが、実際にはチェーンソーを使いこなせるようになりませんでした。そんなときに、チーム木念人が主催する「ながおか森林塾」のことを知り、活動に関わるようになりました。

活動に参加した当初は、薪にする木が手に入るからいいかと森林の状況にはさほど興味がなかったという丸山さん。しかしチェーンソーを使い、狙った場所に木を倒せるようになると活動が楽しくなっていました。「手つかずの森林を間伐し、日光が入ると次第に森林が元気になっていく感覚を感じるようになりました。地球にいいことしているな」と。

「活動に参加する動機は森林を元気にしたいという目的だけでなく、私のように自宅で使う薪を作りたい、チェーンソーを扱ってみたいといった動機でもいいと思っています。どんな動機であれ関わってくれる人たちが増えていくことが、結果的に森林を元気にするのではないかと感じています」。



市内アメリカンスクールの子どもたちが薪割りを体験。初心者でも安心して楽しく参加できます。

そんな丸山さんは、2024年から新たに、子どもたちへの薪割りや火を扱う体験活動を始めました。最初はなかなか上手くできなかった子どもたちが、やっていくうちにできるようになっていく様子を見るのが嬉しく、楽しかったという丸山さん。今後も楽しみながら学んでもらう機会を提供したいと考えています。

「木を切る道具の使い方をマスターし、使いこなせるようになれば森林は元気になり、結果的に環境に優しい。これを森林の楽しみ方のひとつとしてこれからも伝えていきたいです」。やってみたいという動機は自由。何か一つでも知りたいと思うことがあった方はぜひ活動に参加してみたいかがでしょうか。

活動の自立のために備品を調達!

事業名	本格的な茶室で気軽に茶道を楽しもう!
実施日	2023年11月12日
場所	中之島文化センター 茶室及び和室
団体名	なかのしま茶会実行委員会
補助額	99,000円
使途	備品購入費



子どもたちにも、茶道を通じて日本の伝統文化を体験してもらいました

- 中之島文化センターにある茶室を使って、地域の人たちに日本文化に触れ合う機会をつくりたいと「なかのしま茶会」を開催しています。
- 2020年に1回目を開催し、手応えを感じたメンバーが継続開催をしようと新たに団体を立ち上げました。収支計画をつくる中、団体の備品として、数茶碗と毛せんを購入すれば自主財源で運営できることがわかり、備品購入のために補助金を活用しました。
- 開催当日は予定を上回る70名が集まるなど、地域での認知度も上がってきました。揃えた備品は今後もイベントで使うと共に、他イベント出店時や慰問活動にも活用していきたいです。

長岡市未来を創る
市民活動応援補助金

補助金
事例紹介

令和6年度申請受付中

8月実施事業の申請締切は5/20
申請の際は、事前に協働センターに
ご相談ください。詳しくはこちら↓



すぐに自立できる
ような内容/
SDGs目標である
「質の高い教育をみんなに」
に該当すると思います



市民活動 | 虎の巻 |
今月の伝授テーマは
「会則」の役割とは? の巻

会則は「もしも」の時のためにある

物事が上手く行っている時には、「ルール」はあまり気になりません。特に市民活動のような小さな集まりの場合ほど会則の必要性を感じないかもしれません。けれど、なにかトラブルが起こった時、いざ話し合いで解決しようとする揉めに揉めて、問題をうまく収めることができなくなったというケースも耳にします。もしもの時にこそ、客観的な判断基準となる「ルール」が必要です。

会則作成のポイントは「権限」

法人格を持つ団体は「定款」として法律で記載内容が決まっていますが、任意団体の会則・規則の内容は自由です。では何を記載すれば良いのでしょうか? 団体の目的や、事業内容を書くことが多いですが、最大のポイントは「権限」。一言で言うと「誰が何を決められるのか?」です。例えば、代表者は誰が決めるのか? 会則の変更は誰が決めるのか? 活動計画は誰が決めるのか? などが考えられます。

「権限」を持つ人をどう決めるか?

多くの組織にとって最も権限があるのが、会員による「総会」です。誰でも会員になれる会であれば、入会条件を設定する団体もあります。また、全てを総会で決めるのは大変なため、総会で選出する「役員」に多くの「権限」を与えます。その一方で、任期や選出方法を定めることで、会員の声が反映される体制を整えます。このように、物事の決め方の手順をルール化することで、トラブルが起こった際に、最終的に誰の決断に従うのかを明確にすることができます。

会則・規則の具体的な記載内容や、雛形については
こちらのQRコード先の記事をチェックしてください

